

事例から学ぶ高齢者施設の感染対策

新型コロナウイルスクラスターが現実になった時 さわやか行橋式番館で行ったこと



さわやか行橋式番館 ←



さわやか倶楽部事業所数

- ・介護付有料老人ホーム(定員 50名)
 - ・ショートステイ(定員 日/10名)
 - ・デイサービス(定員 日/20名)
- 〒824-0033 福岡県行橋市北泉3丁目11-4

	事業所数
特定施設	69
住宅型有料老人ホーム	14
ショートステイ	34
グループホーム	14
デイサービス	17
障がい児通所支援事業	27
その他	23
合計	198

2023.3月末

さわやか行橋式番館 施設長 金益 春雄

★資料目次★

① さわやか倶楽部・行橋式番館で、
新型コロナ クラスターに備えていること

② クラスター発生状況

③ クラスター対策 まず大切なこと

研修（現任者研修） / さわやか倶楽部マニュアルの常備 / 感染症BCPの策定

④ クラスター発生で行ったこと

⑤ まとめ



① さわやか倶楽部で、2020年から コロナ クラスターに備えて行っていたこと

★感染症BCPの策定

新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画

法人名	(株)さわやか倶楽部	種別	(予定)特定高齢生活介護
代表者	山本 武博	施設長	倉森 春雄
所在地	行橋市北東3丁目 31-4	電話番号	0930-23-1110

★さわやか倶楽部 新型コロナ対策 マニュアルの常備

マニュアル マ第46号	新型コロナウイルス感染予防対策 マニュアル	制定年月日 2020年7月20日
----------------	--------------------------	---------------------

新型コロナウイルス感染予防対策
マニュアル

(株)さわやか倶楽部
2020年7月

★感染対策・熱発時 フローを全施設で共有掲示

【別紙④】「さわやか倶楽部における新型コロナ感染予防対策及び対応について」

“さわやか倶楽部”における新型コロナウイルス感染予防対策及び対応について

職員	利用者 (デイサービス・ショート トースト)	面会者 ボランティア 家族等	取引業者関係
各自出勤前に 自宅や検温 記録表等関し検温で きる環境を設ける。	送迎車に乗車する前に、 本人・家族又は職員が 本人の体温計測 記録表に検温結果を記入する。	入館前に玄関エントランスにて、体温を計測。 エントランス（外廊と内廊とのスペース）に 設置する。	

熱発あり！

熱発が認められる（37.5度以上の発熱をいう）
※発熱は個人で異なりませんが、
原則、上記体温以上は自宅待機とします。判断
に悩む場合は都度AMへ報告・相談する。

熱発なし！

通常通りに出勤、面会、
サービス利用、入館可能であるが、原則、
息を吸わない服装・入館は控えること。
（入館時は、手洗い・うがい、マスク着用）

職員

用具

利用者
(デイサービス・
ショートトースト)

面会者
ボランティア
家族等

取引業者関係

施設の状態は随時
AM・AM等に報告す
ること！
行橋機関への連絡
は施設単位で行
わず、親会社
窓口となり、都度
報告を行うこと。

※上記書面をA3カラー印刷・ラミネートにて、事務所・ステーション等に掲示をし、職員への周知徹底を図る。

★全施設現任者研修

2022・12・12

さわやか倶楽部
現任者研修

新型コロナだけではなく
【施設で強化する感染症対策】

運営指導部 原田裕子

【本日の内容】

- ① 感染症の分類と新型コロナ
- ② 感染症対策委員会の推進 意義
- ③ 感染症対策マニュアル
新型コロナ対策マニュアルの見直し
- ④ 都道府県からの指示に応える
感染症対策自己点検結果入力シートの説明
- ⑤ 中毒感染症への備え
浴場塩素濃度基準変更の再確認
食中毒防止（厨房の環境整備）

① さわやか行橋式番館で行なっていること 感染対策（基本の徹底）

○ 入口扉前での手指消毒

○ 手洗い・うがい（1階洗面所）

○ 健康記録シートへの記入（1階事務所）

○ 防護服の着用（状況に応じて）

○ 換気（2時間おき15分程度）

※ 濃厚接触者への抗原検査の徹底

② 新型コロナウイルス感染状況

第1波（2020年1月1日～5月31日）	0名
第2波（2020年6月1日～10月31日）	0名
第3波（2020年11月1日～2021年3月31日）	0名
第4波（2021年4月1日～6月30日）	0名
第5波（2021年7月1日～10月31日）	デイサービス職員 1名
第6波（2022年1月～3月頃）	特定施設（入居施設）職員2名
第7波（2022年4月～10月頃）	特定施設（入居施設）職員1名
第8波（2022年11月～2023年2月頃）	特定施設（入居施設）職員13名・入居者様22名

② クラスター発生状況

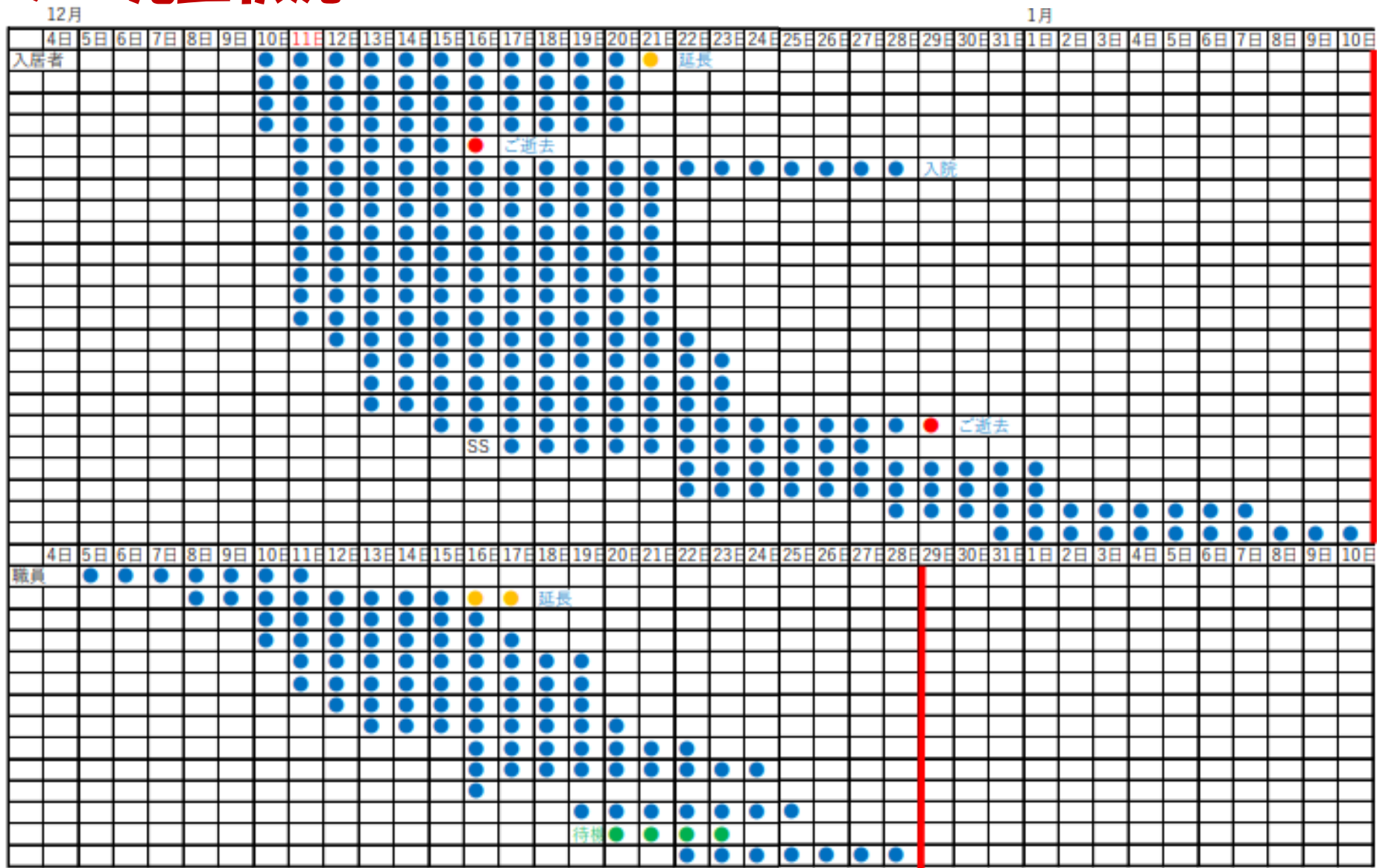
【累計感染者】

入居者様
23名

職員
13名

計36名

同時感染最大27名



②中等症者（点滴・酸素投与）

●5名の基礎疾患等

91歳・男性・要介護1	胃癌術後・前立腺癌・認知症
100歳・男性・要介護3	鉄欠乏症・高血圧
86歳・女性・要介護4	脳梗塞・心筋梗塞
97歳・女性・要支援1	機能性狭心症
80歳・女性・要支援1	認知症・食欲不振

③ クラスタ対策 まず大切なこと

1. 即連絡（連絡網の整備）

社内の連絡網・提携病院・ご家族様
京築保健福祉環境事務所
福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部

2. 情報共有（シフト変更で伝わらない、を阻止）

朝礼・昼礼・終礼での共有
感染状況専用連絡ノート

3. ゾーニング（ビニールテープは事前準備を）

レッドゾーンの指定

4. 職員感染対策研修（忙しいと手抜きに、を阻止）

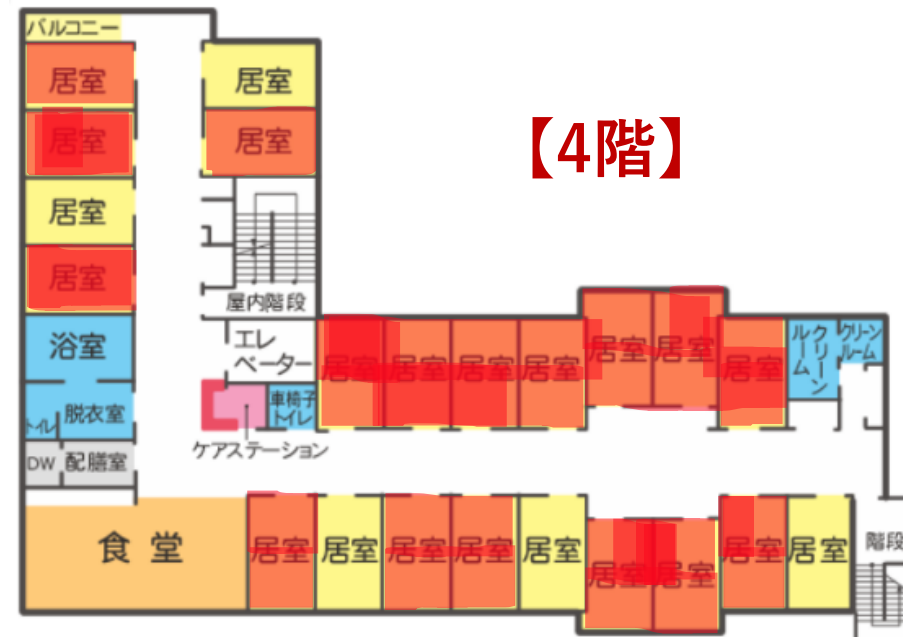
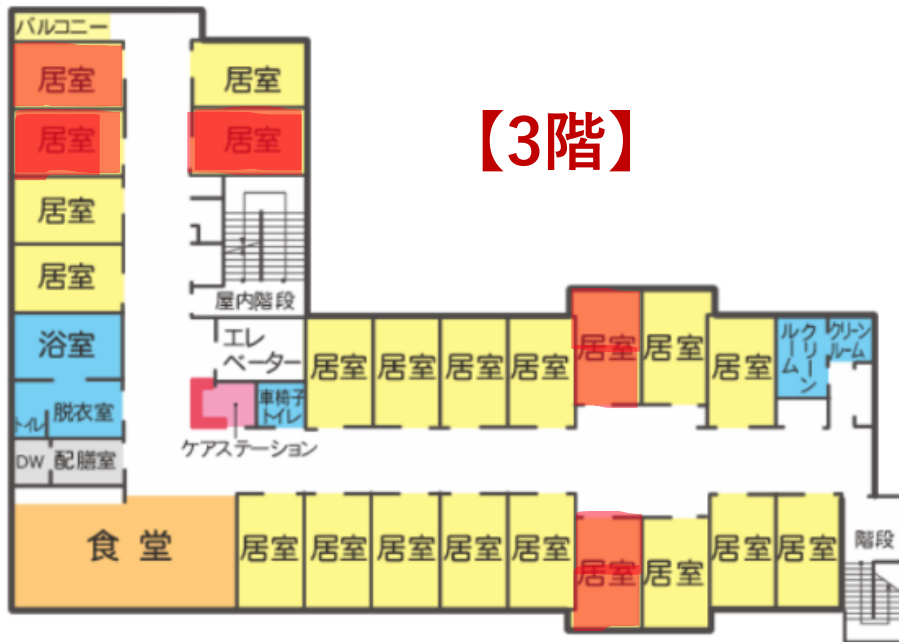
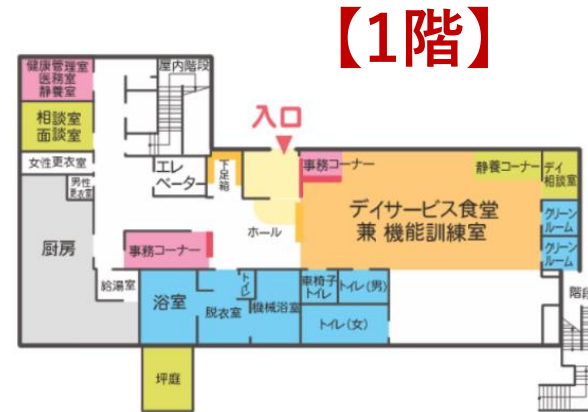
感染防護備品の備蓄
見えやすい場所でのマニュアルの掲示



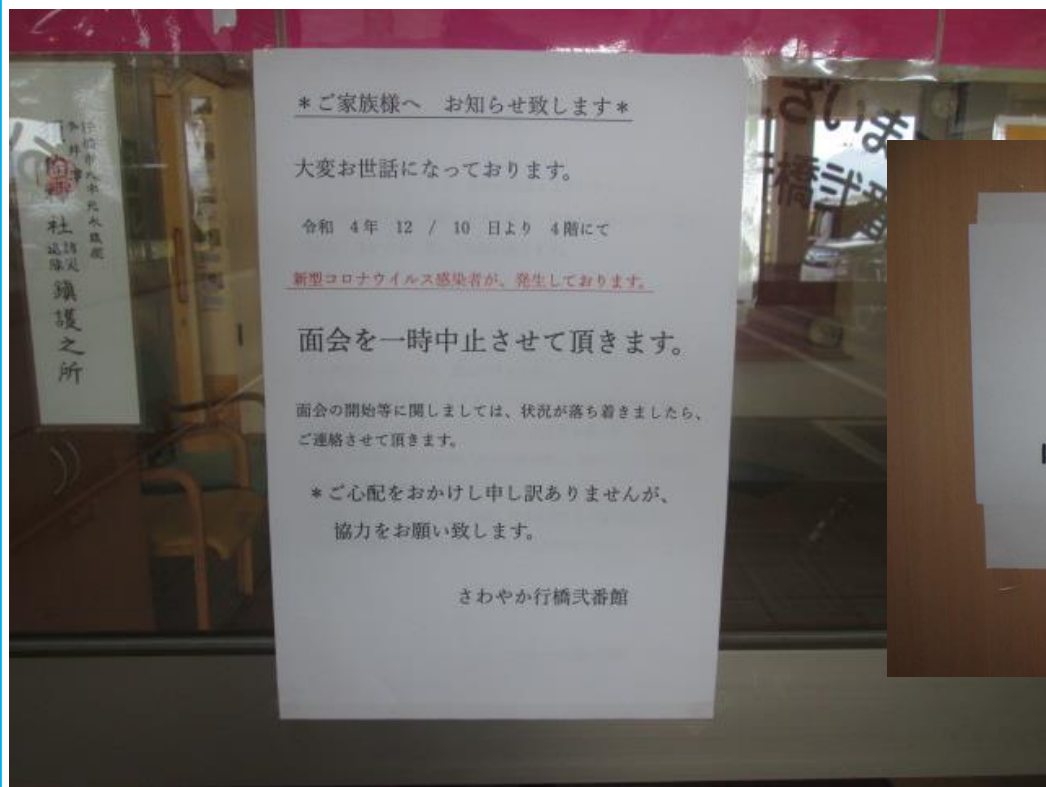
④ クラスター発生で行ったこと

【ゾーニング】

- 3階、4階の職員は外階段を使い、1階（事務室等）2階には出入りしない
- エレベーターは封鎖
- 感染者のいる各階にはレッドゾーンの提示
- 赤塗は感染者居室



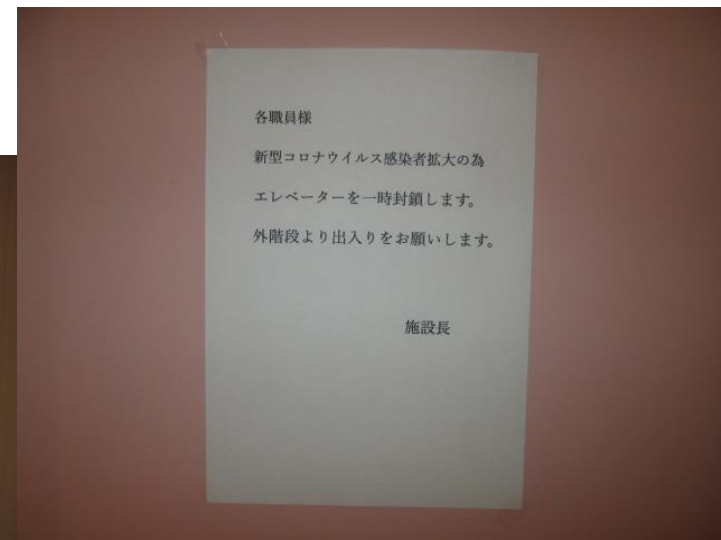
④ クラスター発生で行ったこと【事業所封鎖等のお知らせ】



●当日中に、入居者様ご家族様、ショートステイのご利用者様・ご家族様、デイサービスご利用者様・ご家族様及び居宅ケアマネジャー様へ状況報告を行ない、面会中止の旨を伝達。

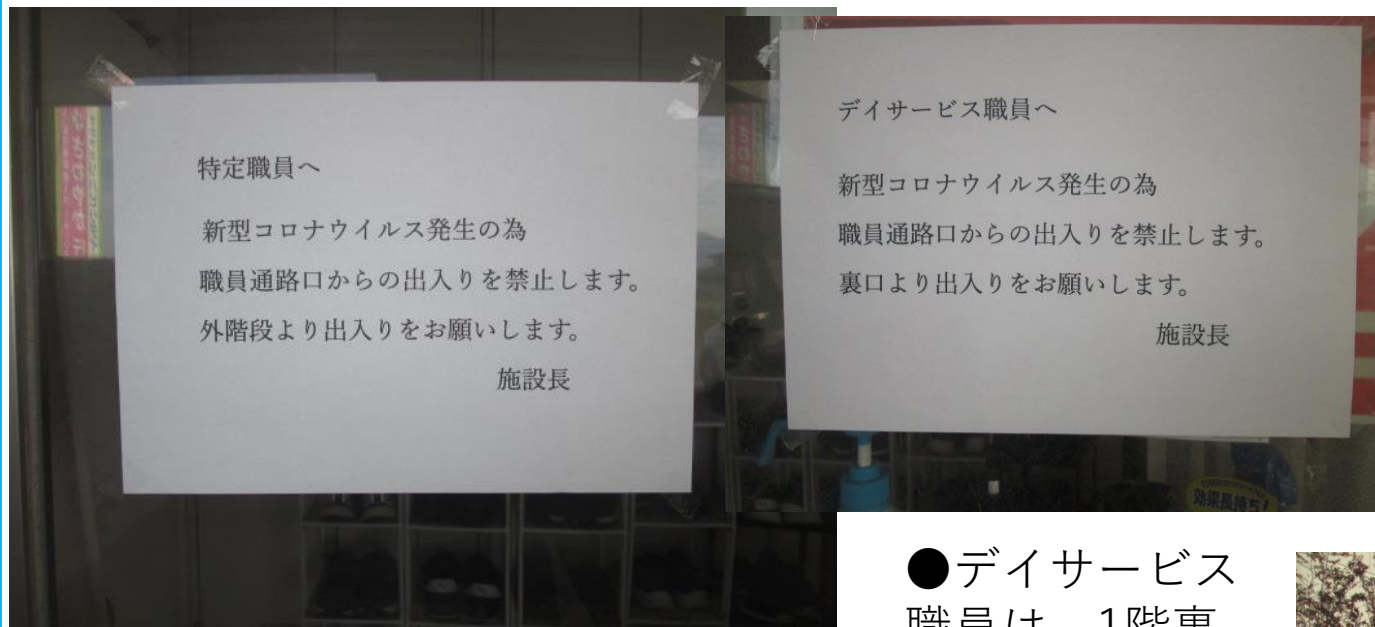


●居室入り口には、ゾーニングを行なっているが、扉に感染日と解除予定日を掲示する。



●エレベーターは、緊急時以外の利用は禁止する。原則職員の利用は全面禁止。物資の運搬に関しては、十分な消毒を行い利用した。

④ クラスター発生で行ったこと 【職員出入りの導線制限】



●出退勤時等、入居施設職員の1階事務所への立ち入りを禁止し、2階から4階の担当フロアへ外階段を利用し出入りを行ない、担当フロアのみでの業務を行なう。

●デイサービス職員は、1階裏口から出入りし、他の職員との接触が無いよう業務を行なう。



●ロッカーが利用できない為、制服で出勤し、外階段入り口で消毒し出退勤を行なう。



④ クラスター発生で行ったこと 【感染者居室周辺ゾーニングの様子】



●発生当初のゾーニング。ゾーンを広く取り過ぎており、レッド、イエローゾーンの区別があいまいな状況が確認された。



●入室時、防護服を着用するイエローゾーンと感染度が高いレッドゾーンの区分けを明確にする。

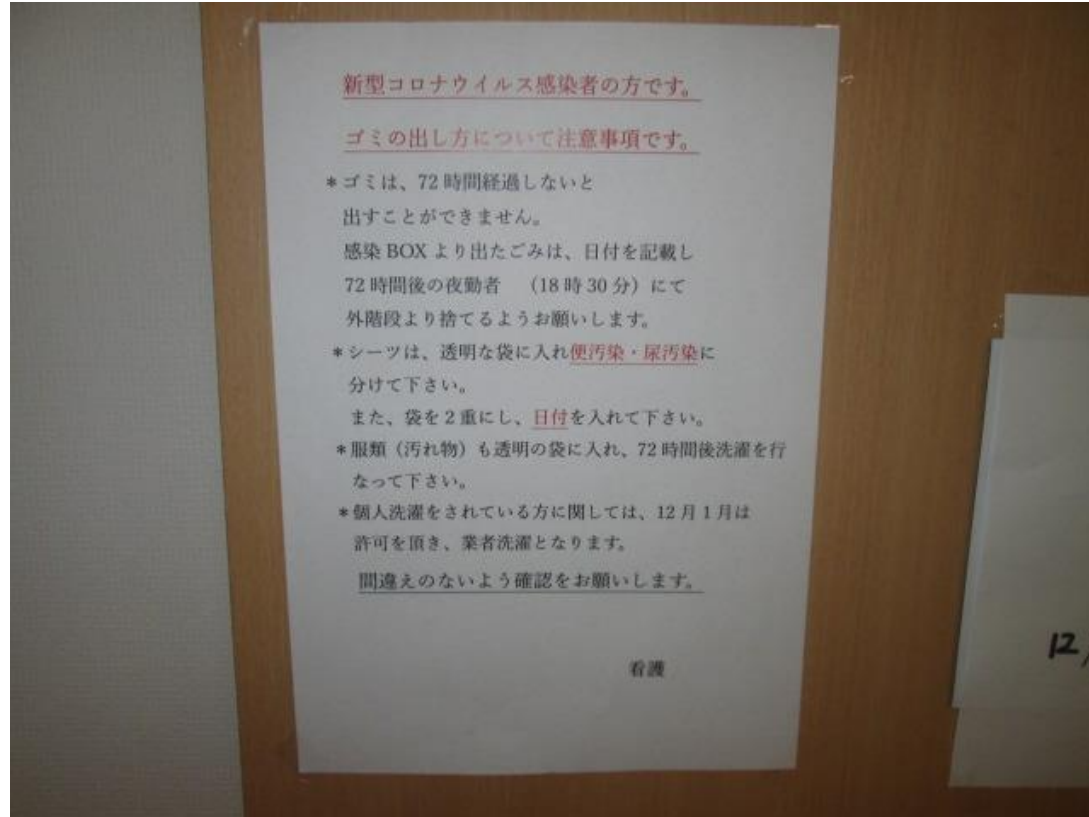


●退室時、必ず室内のイエローゾーン内で防護服の脱衣を行ない、入り口付近のゴミ箱に使い捨て防護服を捨て、徹底した消毒を完了してから退室する。

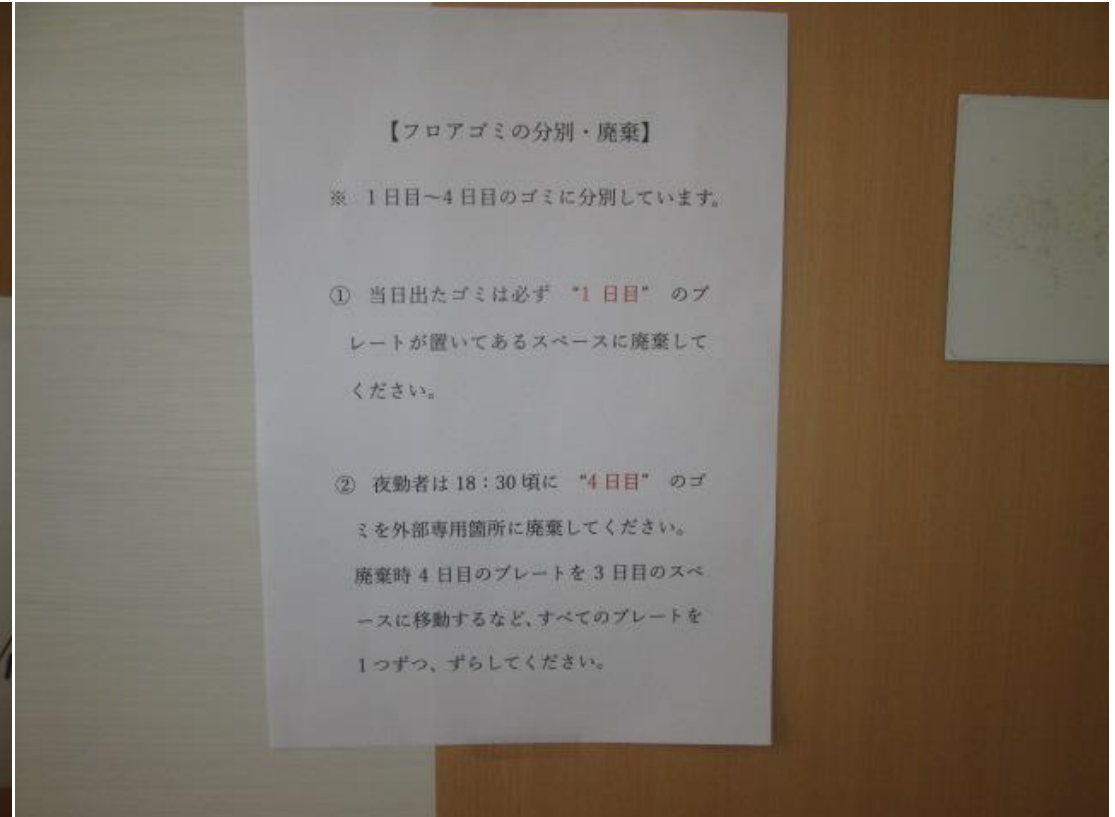
※脱衣時の消毒の徹底が出来ていない事が一番の問題と想定。

④ クラスター発生で行ったこと

【感染汚染物の管理】



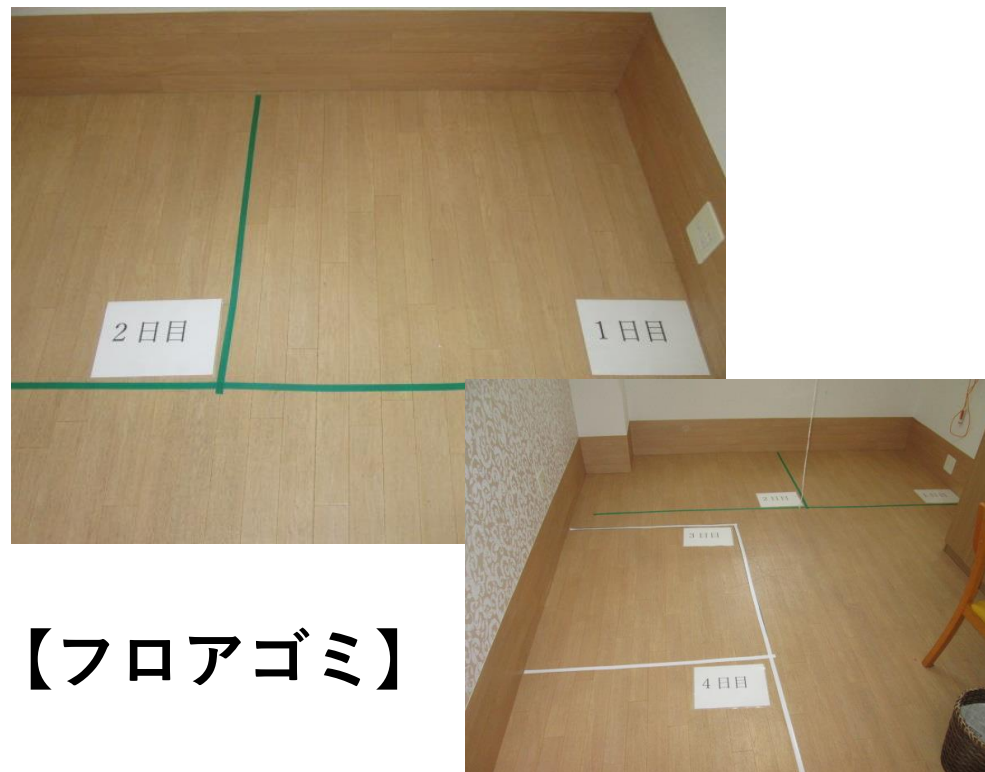
- 居室から出たゴミは、居室トイレのスペースに日付毎に日勤帯職員が17時～17時半ごろにBOXにまとめ日付を記入する。4日目のゴミを23時頃、夜勤職員が外部専用BOXに廃棄を行なう。



- フロアから出たゴミ（使い捨て食器等）は、遅番職員が日にちごとに区分けした専用のスペースに置く。4日目のゴミを、夜勤職員が23時頃、外部専用BOXへ廃棄する。

④ クラスター発生で行ったこと

【感染汚染物の管理】



【フロアゴミ】

感染発生時にすぐゾーニング

●フロアゴミは、専用スペースで管理。量が多く動かすのが大変な為、日付プレートを移動し管理を行なう。



【洗濯物】

●集配業者の方と確認し、感染者の洗濯物は、種類別に青とオレンジに分け、専用スペースにて日付毎に管理する。4日目以降の物を日勤帯職員が17時頃、屋外指定BOXに運ぶ。



【使い捨て食器】

●通常の食器は使わず、紙食器を利用、利用後はフロアゴミとして廃棄。各食後、専用スペースにフロアゴミとして廃棄する。

④ クラスター発生で行ったこと【感染対策の徹底】



手指衛生



手洗い方法



アルコール消毒



個人防護具の着脱の順番基本



誰もがすぐ見えるフロア廊下に掲示



個人防護服の着脱は、実践での研修を行った

○備品はすぐたくさん必要です。十分な備蓄を行います。
○本社、近隣施設と連携して在庫を確保しました

⑤まとめ

- 熱発者への対応を迅速に行う
- 自主検査(抗原検査)の体制を整えておく
- 最初の感染者が出たらすぐ、ゾーニングを行う
- 職員感染に備えてシフト調整は早めに
- 入居者様重症対応は医師への連絡を密に
- 感染対策の研修・実習を繰り返し行う

ご清聴ありがとうございます